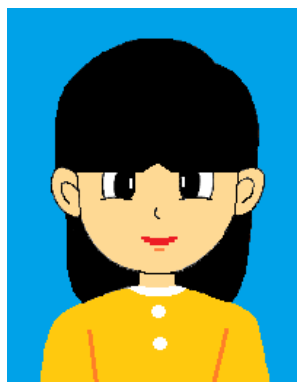


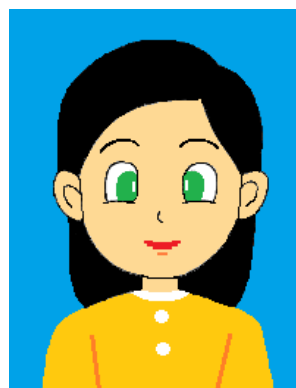
不適切な写真の具体例



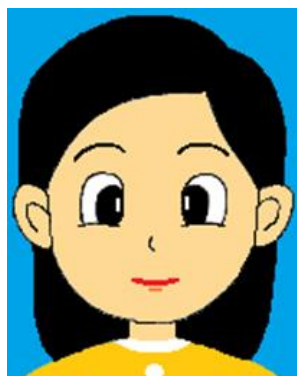
目が隠れている



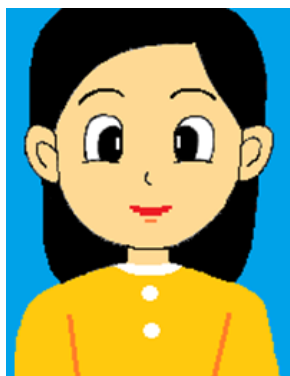
顔の一部が見えない



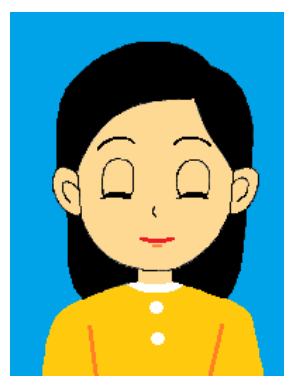
カラーコンタクト



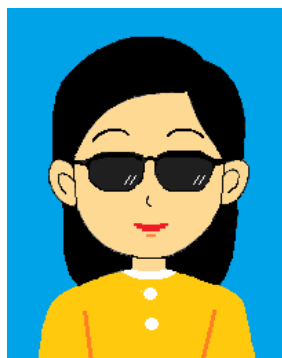
上三分身でない



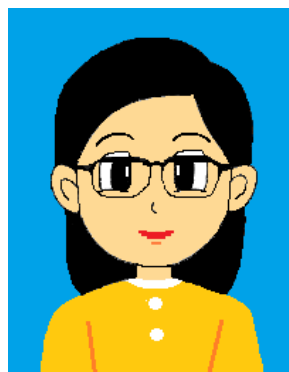
一部が欠けている



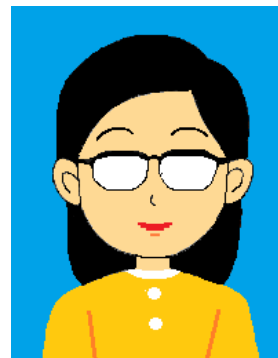
目つむり



濃いサングラス



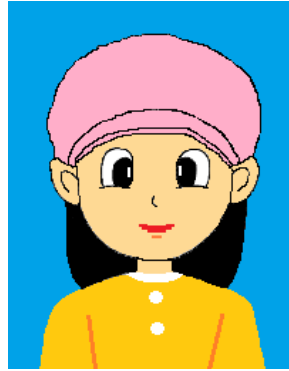
眼鏡と目が重なっている



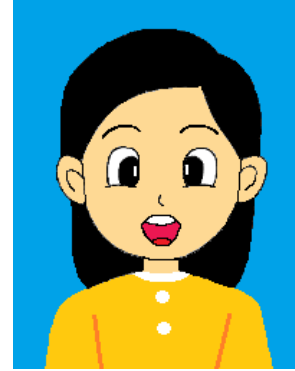
眼鏡が反射



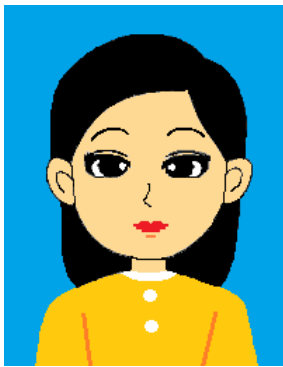
マスクをしている



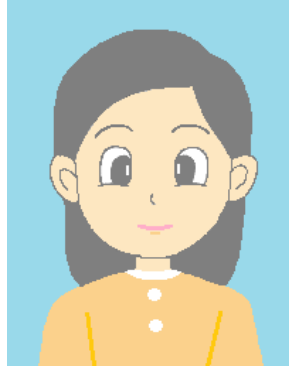
頭部が見えない



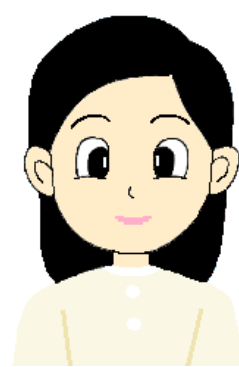
口が開いている



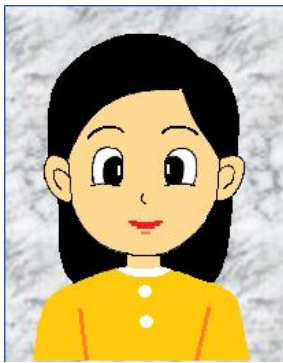
合成写真



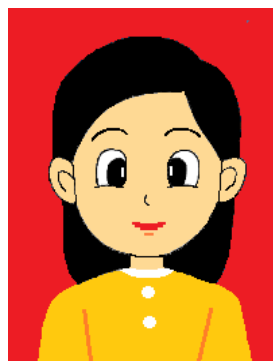
全体的に薄い



背景と同一化



無背景でない



背景が奇抜な色



ピントがあっていない

石川県警察における免許用写真の基準

1 不適切な具体例

- (1) 目が髪などで隠れている
- (2) 顔の一部が途切れている
- (3) カラーコンタクト、サークルレンズを使用している
- (4) 顔しか写っていない、顔が小さい
- (5) 目をつむっている
- (6) 色の濃いサングラスをしている
- (7) 眼鏡のフレームが目にかかっている
- (8) 眼鏡が光っていて目が確認できない
- (9) マスクをしている
- (10) 頭部を覆うような幅の広いヘアバンドやバンダナ、はちまき等をしている
- (11) 大笑いしているなど口を大きく開けている
- (12) 合成写真である
- (13) 加工・編集した写真である
- (14) 画質が粗い（ドットやジャギー、階段状のギザギザがある）
- (15) 印刷不良
- (16) 不鮮明である（ピンボケ等）
- (17) インクの定着が悪く、こするだけでインクがとれてしまう
- (18) 傷・汚れ・変色がある
- (19) 写真用紙（光沢紙）以外で印刷している
- (20) 顔の輪郭や衣類などが背景と同化している
- (21) 背景が壁紙の模様やカーテン模様、壁の木目などになっている
- (22) 景色等が写っている
- (23) 背景が奇抜な色になっている
- (24) 現在の容姿と写真が著しく異なっている

2 持参した免許証用写真の留意点

持参写真で運転免許証及び運転経歴証明書（以下「運転免許証等」という。）を作成した後、写真の画質が低下したことにより運転免許証等の写真で個人識別が容易でないものとなった場合は、直接撮影機により作成を行うか、別の写真の提出を求める場合があります。